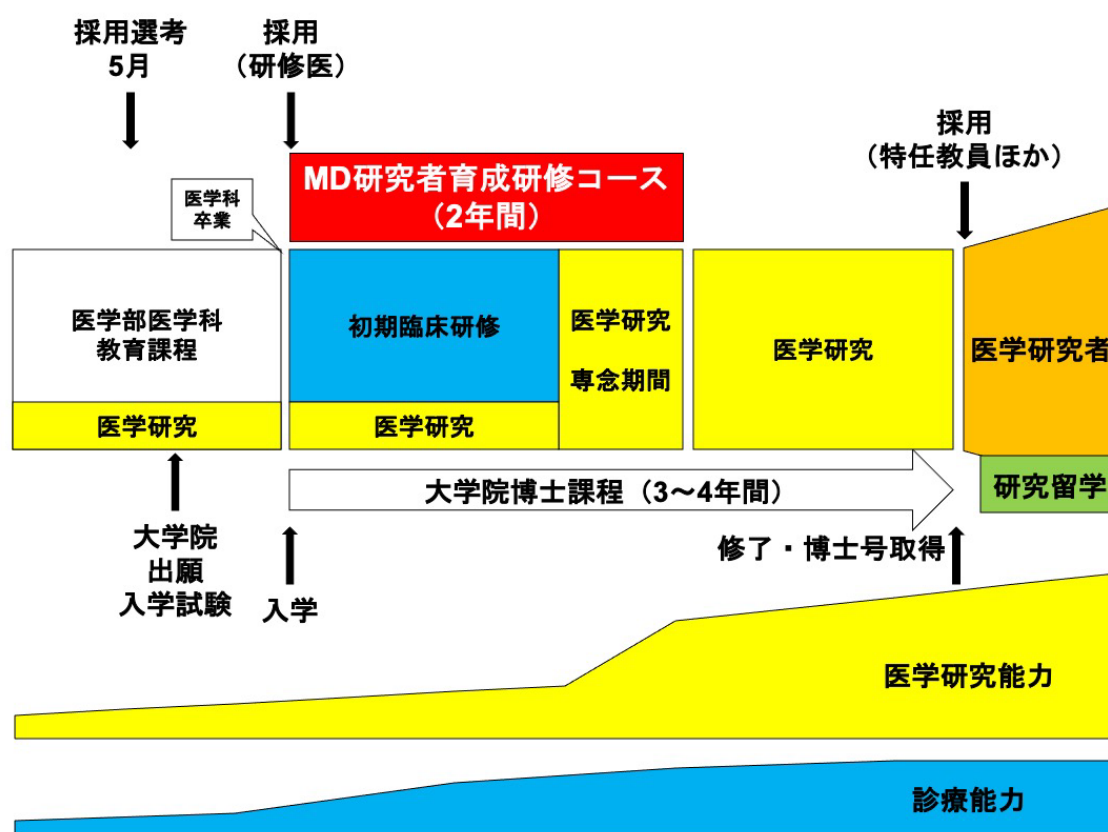


大阪大学医学部附属病院 大阪大学 MD 研究者育成研修コースについて

<概要>

大阪大学医学部附属病院では、基礎医学研究者育成を目的とした臨床研修における特別研修プログラム「大阪大学 MD 研究者育成研修コース」を運用している。本コースでは大阪大学大学院医学系研究科と連携し、臨床研修と大学院博士課程の同時進行を行うことができる。本プログラムは、基礎医学研究者を志す医学生・医師が、臨床研修による研究中断を最小限に抑え、大阪大学 MD 研究者育成プログラムなどで行われた学生時代に実施した医学研究を継続し、臨床研修後もシームレスに大学院博士課程での医学研究の継続につなげることを目的とする（下図）。



<特徴>

- 臨床研修期間中に大学院博士課程教育を並行して行い、基本的診療能力と医学研究能力を同時に向上させる。
- 大阪大学医学部附属病院での臨床研修開始と同時に、大阪大学大学院医学系研究科博士課程（基礎医学系）へ入学し、大学院生として医学研究を継続する。

<募集、選考、大学院入学関連>

- 研修コース開始前年度の4～5月に募集を行う。
- 応募者は、志望理由書（所定様式）、推薦書（医学生時代の指導者による、所定様式）、研究業績一覧（様式自由）を提出する。
- 応募者は評価委員会による面接を受ける。
- 評価委員会は応募者を規定基準に基づき評価し、採用者を決定する（5月中）。
- 本研修コースは通常の臨床研修マッチングシステムを使用せず、独自に募集と採用を行う。
- 採用内定者は研究計画に基づき所属する基礎医学系の教室を決定し、大学院博士課程の入学志望申請を行ったうえで、大学院入学試験（8月もしくは12月）を受験する。

<研修コースのスケジュール>

- プログラム開始時に、臨床研修オリエンテーションに加え、大学院および所属講座の博士課程オリエンテーションを受講する。
- 臨床研修2年目後半の24週を、大学院医学系研究科（連携研究科や協力講座含む）での基礎医学研究に専念する期間として設定する。
- 研究専念期間開始前に、臨床研修における到達度評価を行う。
- 勤務時間外（業務終了後や祝休日）における研究活動や大学院課程講義、研究指導の受講を許可する。
- 研修プログラム修了後は、大学院博士課程 3年次として所属講座における基礎医学研究を継続する。
- 研修プログラム修了後、修了者の到達目標達成度と進路状況を厚生労働省近畿厚生局へ報告する。
- 大学院修了後も基礎医学研究者としてのキャリア継続を推奨し、大阪大学大学院医学系研究科特任教員への推薦や海外留学支援などを実施する。
- プログラム修了後4年以内を目途に、作成した基礎医学論文を研修管理委員会に提出する。

<大学院所属講座における研究活動>

- 大学院博士課程のカリキュラムにおける必要な講義・セミナーを受講する。
- 所属講座は基礎医学系とし、基礎医学研究歴7年以上で医師免許を有する複数の指導者が研究指導およびキャリア支援を行う。
- 所属講座では、学生時代の研究の継続・発展に加え、研究手法、論理的思考、情報収集、論文作成、プレゼンテーション、ディスカッション能力など、研究者としての基礎能力向上を目的に指導を行い、学会発表を積極的に推奨する。

<注意点>

- 医学系研究科における研究活動の従事には、同科における大学院生もしくは研究生の身分が必要である。
- 採用内定者が研修開始前の大学院入学試験に不合格となった場合、研修1年目は大学院ではなく医学系研究科研究生に入学とする。大学院については、その年度で再受験する。この間も臨床研修は続行し、医学研究は研究生として継続を行う。
- 研修1年目での入学試験に不合格となった場合、引き続き研究生として医学研究を続行し、2年目後半は研究専念期間とする。大学院についてはその年度に再受験し、翌年度より大学院1年次として博士課程を開始する。
- 研修途中で本コースの継続を辞退する場合、臨床研修は中断し規程に基づき退職となるが、大学院生もしくは研究生としての研究継続は妨げない。
- 博士課程指導者が医学研究の継続を不可と判断した場合、本研修コースは中断とする。
- その他の事項は大阪大学大学院医学系研究科の規程に従う。